

秋の休日は 上海世博文化公園へ

浦東新区の上海万博跡地、自然と文化のスポットが集まる上海世博文化公園。温室花園での植物観察や子どもの遊び場、新しいオペラハウスなど、秋の休日に楽しみたい園内の見どころを2週にわたって紹介します。

① 上海温室花園



地下1階～地上3階まで広がる巨大な温室



強大な植物の存在感到圧倒される



NPCやスタッフとの交流も楽しい

公園の中心湖畔に広がる、約2万2000㎡の大型温室。乾燥地の植物が並ぶ「海市沙洲」、熱帯雨林を再現した「雲上森林」、花々や空中庭園を楽しめる「雲霧峡谷」の3館からなり、葉や根の形を観察できる。現在は、アメリカ大陸の植物展「世界樹之境」を開催中。リュウゼツランなど300種以上の植物を、アステカ・マヤ・インカ文明にちなんだ景観とともに紹介する。園内では不定期のミニ演劇やスタンプラリーなども開催され、楽しく植物や文明について学べる。秋季限定の作物展では40品種以上のカボチャも展示している。

上海温室花園

📍 浦東新区清明路199号(上海世博文化公園内)×通耀路付近

🕒 9～21時(最終入館20時半、月曜休館)

💰 平日98元、土日祝128元。身長1m以上1.4m未満の子ども・60歳以上などは平日49元、土日祝64元



無料で遊べるキッズパーク。大きな砂場もあり



カフェやメリーゴーランドなど、有料施設も併設

双子山の麓に広がる、キノコをテーマにした屋外遊び場。巨大なキノコ型遊具には滑り台やクライミングネット、見晴らし台が組み合わされ、登ったり滑ったりして遊ぶ。白い砂場や、平衡感覚を使う遊具などもあり、これらの第1期エリアは無料で利用できる。9月19日(土)には第2期エリアがオープン。上海に生息する13種の動物をモチーフにした回転遊具「蘑菇飛旋」と、吊り橋や足場を渡る空中アスレチック「叢林迷踪」が加わった。アスレチックは地上約3mと約5mの2コースを用意。温室花園の見学と組み合わせ、屋外で体を動かす時間も楽しめる。

磨力樂園

📍 上海世博文化公園南区・双子山麓 🕒 9時～18時(11～4月は9時～17時)

💰 入場無料、メリーゴーランドは1人1回30元。アスレチックは緑コース80元、オレンジコース100元

② 磨力樂園

上海世博文化公園マップ

